

## 厚生労働省が公表する再検証要請対象医療機関について

### 1 背景

#### 1) 経緯

地域医療構想調整会議において、2年間で集中的な検討を進める中、新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランを作成し、民間医療機関との役割分担を踏まえ、公立・公的医療機関でなければ担えない分野の重点化された具体的な方針（各プラン）を調整会議で合意を得ていた。

#### ○公立・公的医療機関が求められる機能

- ・高度急性期や急性期機能や不採算部門、過疎地域の医療提供
- ・山間僻地・離島など民間医療機関の設置が困難な過疎地域の医療提供
- ・救急、小児、災害など不採算、特殊部門の医療提供
- ・民間医療機関では限界のある先進医療の提供
- ・研修の実施を含む広域的な医師派遣の拠点機能

#### 2) 病床機能報告結果

病床機能報告で高度急性期・急性期病床の削減は数%に留まり、急性期からの転換が進んでいない結果であった。総病床数も横ばいであった。



具体的な対応方針（各プラン）の合意内容が地域医療構想の実現に沿ったものになっていないのではないか。

### 2 具体的対応方針の再検証

すべての医療機関の診療実績データを分析し、「診療実績が少ない」、「診療実績が類似している」と位置づけされた公立・公的医療機関に対して、診療実績や将来の医療需要の動向を踏まえつつ、医師の働き方改革の方向性も加味して、当該医療機能の他の医療機関への統合やほかの病院との再編統合について、地域医療構想調整会議で協議し、既に合意の得ている具体的な方針（各プラン）を改めて合意を要請する予定。

#### ○分析内容

分析項目ごとに診療実績の一定の指標を設定し、当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているか分析

A：診療実績が特に少ない（9領域）

B：構想区域内に一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの医療機関が近接している（6領域）

のいずれかの要件に、全ての領域について該当する公立・公的医療機関（＝上記6病院が該当）を再検証要請対象医療機関と位置づけ、  
①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関の役割  
②2025年に持つべき医療機能別の病床数  
の具体的対応方針の再検証を要請する。

3 厚生労働省（9月24日）から、公立・公的医療機関のうち、再編統合等を検討すべき再検証要請対象医療機関6病院が公表。

管内はなし。

西条新居浜圏域	・・・	西条市立周桑病院	(類似近接する医療機関がある)
松山圏域	・・・・・	愛媛医療センター	(診療実績が特に少ない) (類似近接する医療機関がある)
宇和島圏域	・・・	宇和島市立吉田病院	(診療実績が特に少ない) (類似近接する医療機関がある)
		宇和島市立津島病院	(診療実績が特に少ない) (類似近接する医療機関がある)
		鬼北町立北宇和病院	(類似近接する医療機関がある)
		県立南宇和病院	(類似近接する医療機関がある)

4 厚生労働省は、今後、都道府県に対して以下の事項を求めてこととしているが、全国データを厚生労働省が機械的に分析したものであることから、さらに精査をする。今後、病院設置者や各圏域の関係者と丁寧に議論し、対応を検討すること。

- 医療機関に対し、具体的対応方針の再検証の要請を行うこと。
- 地域医療構想調整会議において、再編統合等をしない場合には2019年度中に、再編統合等をする場合であっても2020年9月までに結論をだすこと（病床削減、機能の転換・分化・連携・集約化）。

※1 診療実績データ確認の対象領域は、がん、心筋梗塞等の心血管疾患、脳卒中、救急医療、小児医療、周産期医療、災害医療、へき地医療、研修・派遣機能の9領域

※2 類似近接医療機関の確認ための対象領域は、がん、心筋梗塞等の心血管、脳卒中、救急医療、小児医療、周産期医療の6領域

※3 近接の定義は、自動車での移動時間が20分以内の距離。

※4 診療実績データの分析においては、構想区域内の人口により全国を5つの区分に分類した上で、その区分内の診療実績が下位33.3%に該当する医療機関を機械的に「診療実績が特に少ない」と定めている。

施設登録情報		施設登録情報		施設登録情報		施設登録情報	
登録情報	登録情報	登録情報	登録情報	登録情報	登録情報	登録情報	登録情報
担当課							4
周産期医療							
小児医療							2
災害医療							
周産中							
心筋梗塞等の心血管疾患							
法人							
研究・派遣機関							
へき地医療							
災害医療							
周産期医療							
小児医療							
災害医療							
周産中							
心筋梗塞等の心血管疾患							
法人							
民間の地域医療支援病院							
公的等2025プラン対象							
公立病院新改革プラン策定対象							
地域周産期母子医療センター							
総合周産期母子医療センター							
へき地拠点病院							
災害拠点病院							
地域医療支援病院							
特定機能病院							
基幹型臨床研修病院							
人口区分							
公立・公的医療機関等							
稼働率（高度急性期・急性期病棟）							
休棟中等病床数							
慢性期病床数							
回復期病床数							
急性期病床数							
高度急性期病床数							
合計病床数							
設置主体							
医療機関施設名							
コード＆構想区域							

支拂額目ごとの料金	【周産期医療】ハイリスク分娩管理加算				
	【周産期医療】分娩件数				
	【小児医療】小児入院医療管理料・新生児集中治療室管理料等				
	【救急医療】大腸骨骨折等	●			
	【救急医療】救急搬送等の医療			●	
	【脳卒中】血栓除去術等の脳血管内手術				
	【脳卒中】開頭血腫除去術等				
	【脳卒中】脳動脈瘤クリッピング術等				
	【脳卒中】超急性期脳卒中加算				
	【心筋梗塞等の心血管疾患】外科手術が必要な心疾患				
支拂額目ごとの料金	【心筋梗塞等の心血管疾患】急性心筋梗塞に対する心臓カテーテル手術				
	【がん】放射線療法				
	【がん】泌尿器／生殖器				
	【がん】消化器（消化管／肝胆脾）				
	【がん】乳腺				
	【がん】肺・呼吸器				
	【がん】婦人科	●	●	●	●
	【がん】乳癌	●	●	●	●
	【がん】大腸癌	●	●	●	●
	【がん】肺癌	●	●	●	●
支拂額目ごとの料金	【がん】肝・胆・脾・膵臓	●	●	●	●
	【がん】直腸・肛門	●	●	●	●
	【がん】子宮・卵巣	●	●	●	●
	【がん】膀胱・尿管	●	●	●	●
	【がん】鼻・副鼻腔	●	●	●	●
	【がん】頭頸部	●	●	●	●
	【がん】四肢	●	●	●	●
	【がん】皮膚	●	●	●	●
	【がん】その他	●	●	●	●
	【がん】未定	●	●	●	●
支拂額目ごとの料金	【周産期医療】ハイリスク分娩管理加算				
	【周産期医療】分娩件数	0	0	0	
	【小児医療】小児入院医療管理料・新生児集中治療室管理料等	0	0	0	
	【救急医療】大腸骨骨折等	734	0	1,369	
	【救急医療】救急搬送等の医療	0	0	0	
	【脳卒中】血栓除去術等の脳血管内手術	0	0	0	
	【脳卒中】開頭血腫除去術等	0	0	0	
	【脳卒中】脳動脈瘤クリッピング術等	0	0	0	
	【脳卒中】超急性期脳卒中加算	0	0	0	
	【心筋梗塞等の心血管疾患】外科手術が必要な心疾患	0	0	0	
支拂額目ごとの料金	【心筋梗塞等の心血管疾患】急性心筋梗塞に対する心臓カテーテル手術	0	0	0	
	【がん】放射線療法	0	0	0	
	【がん】泌尿器／生殖器	0	0	0	
	【がん】消化器（消化管／肝胆脾）	0	0	0	
	【がん】乳腺	0	0	0	
	【がん】肺・呼吸器	0	0	0	
	【がん】婦人科	0	0	0	
	【がん】乳癌	0	0	0	
	【がん】大腸癌	0	0	0	
	【がん】肺癌	0	0	0	
支拂額目ごとの料金	医療機関別設名	西予市立西予市民病院	市立八幡浜総合病院	喜多医師会病院	市立大洲病院
	コードを構成区域	3805:八幡浜・大洲	3805:八幡浜・大洲	3805:八幡浜・大洲	3805:八幡浜・大洲

## 診療実績データの分析結果（イメージ）～見方①「項目の意味」～

※本資料は暫定版であり、今後精査を行った後に看護師に講定版を渡却する予定である。

統計区分	疾患分類	診療部位	年次	診療区分	担当者	診療実績
A 診療実績が特に多い						
1 ○○○○○病院	公立（市町村）	○	○	○	○	○
2 ○○医療センター	公的（国立病院機構）	○	○	○	○	○
3 △△病院	公立（地方立行政法人）	○	○	○	○	○
4 △△病院	民間（地域医療支援病院）	○	○	○	○	○
5 ○○多科専門施設	公的（日赤）	○	○	○	○	○
6 ○○○○○医療研究センター	公的（国立病院機構）	○	○	○	○	○
7 ○○病院	公的（衛生会）	○	○	○	○	○
* 入口区分 1：100万以上 2：50-100万 3：20-50万 4：10-20万 5：10万未満						
※1 施設開設からの算出による ※2 平成25年度診療実績分析報告書 ※3 平成25年度診療実績分析報告書 ※4 平成25年6月時点の登録数 ※5 6件+8件=14件の診療実績は、表記とし、*で表す。 ※6 平成25年6月時点の登録数						

A該当数がさほどではないが、今後精査を行った後に看護師に講定版を渡却する予定である。  
※1 「再検査要請対象」とする。  
「再検査要請対象」別  
赤色●：公立医院  
青色●：公的医療機関等  
緑色●：民間の地域医療支援病院を表す。

・公的医療機関等については、公立病院と異なり、法に基づいて、診療事業会計に対して組入れ等を行っているものではないが、具体的な対応方針の再検査に当たっては、留意を行うこととする。

・地域医療連携については、公立病院については、税法上の医療費控除が認められるため医療法上の公的医療機関等（一般の医療機関に常に期待することができない医療を行つてはいけない医療をするため、具体的な対応方針の再検査に当たっては、留意を行う。）

年次	施設開設名	分析項目ごとの「診療実績が特に少ない」への該当							分析項目ごとの「該当がつづけする診療実績をもつ」への該当
		小児	婦人	高齢者	心臓血管	脳卒中	糖尿病	消化器	
B 診療実績の実数									
1 ○○○○○病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 ○○医療センター	*	○	○	○	○	○	○	○	●
3 △△病院○○医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○	●
4 △△病院	○	*	○	○	○	○	○	○	●
5 ○○多科専門施設	○	*	○	○	○	○	○	○	●
6 ○○○○○医療研究センター	○	*	○	○	○	○	○	○	●
7 ○○病院	○	*	○	○	○	○	○	○	●
各項目の診療実績の実数を表す。									
1 ○○○○○病院	0	0	0	0	0	0	0	0	●
2 ○○医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	●
3 △△病院○○医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	●
4 △△病院	0	0*	0	0	0	0*	0	1500*	●
5 ○○多科専門施設	17*	•	•	17*	0*	0*	0*	4430	●
6 ○○○○○医療研究センター	14*	•	17	23*	0	0	0	2760*	●
7 ○○病院	17	0*	•	0	0	0	0	4320	●

※1 施設開設からの算出による

※2 平成25年6月時点の登録数

※3 平成25年6月時点の登録数

※4 平成25年6月時点の登録数

※5 6件+8件=14件の診療実績は、表記とし、\*で表す。

## ■ 診療実績データの分析結果（イメージ）～見方②「表の読み方」～

設置主体	診療実績登録年	診療実績登録年別別										合計病床数
		令和元年	令和二年	令和三年	令和四年	令和五年	令和六年	令和七年	令和八年	令和九年	令和十年	
○○市立○○病院	公立 (市町村)	100	0	100	0	0	0	70%	0	2	0	0
1 ○○医療センター	公的 (国立病院機構)	240	0	100	110	30	0	79%	0	2	0	0
2 ○○行政法人○○医療センター	公立 (地方独立行政法人)	135	0	100	35	0	0	75%	0	2	0	0
3 △△病院	民間 (地域医療支援病院)	263	0	94	87	82	0	89%	0	2	0	0
4 ○○十代病院	公的 (日赤)	500	230	270	0	0	0	80%	0	20	0	0
5 ○○十代病院	公的 (国立病院機構)	610	610	0	0	0	0	87%	0	20	0	0
6 ○○社会福祉法人○○医療法人○○医療セントラル	公的 (再生会)	405	15	390	0	0	0	63%	0	20	0	0
7 ○○社会福祉法人	公的 (再生会)	17	17	23	0	0	0	0	0	0	0	0